

## 災害統計グローバルセンター(GCDS)の定例会議をバンコクで開催しました(2019/8/23)

テーマ：災害統計の整備、国際連携

場所： UNDP Bangkok Regional Hub (タイ・バンコク)

2019年8月23日(金)、タイのバンコクにおいて災害統計グローバルセンター(GCDS)の定例会議(東北大学災害科学国際研究所、国連開発計画(UNDP)、富士通株式会社からそれぞれ関係者が出席)を開催しました。当研究所からは、小野裕一教授、佐々木大輔助教、田中秀実研究員(いずれも情報管理・社会連携部門)が出席しました。

今回の会議では、前回に引き続き、富士通株式会社を中心となって開発中の災害統計グローバルデータベース(GDB)に関し、出席者の間で活発な議論を行うとともに、11月に開催される世界防災フォーラム(WBF)における研究発表の内容等について、詳細な検討を実施しました。併せて、8月26日(月)に予定されたネパールでのフィールド調査に関し、最終の打合せ・調整を行いました。

災害統計グローバルセンター(GCDS)では、引き続きUNDPや、富士通株式会社をはじめとする民間企業との連携を密に取り、世界の災害統計の発展と防災力向上に向けて、学際的・分野横断的に研究・活動を進めていきます。



会議の様子



集合写真

文責：佐々木大輔(情報管理・社会連携部門)